



2023年3月27日

株式会社 関電工

千葉県 いすみ市

東京電力パワーグリッド株式会社 木更津支社

いすみ市地域マイクログリッド構築事業の設備完成披露式の開催について

株式会社関電工(東京都港区、取締役社長 仲摩俊男、以下「関電工」)は、3月27日、令和4年度「地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金(地域マイクログリッド構築支援事業のうち、地域マイクログリッド構築事業)」を活用した「いすみ市地域マイクログリッド構築事業」の設備竣工を記念し、いすみ市立大原中学校において完成披露式を開催しました。

本事業は、千葉県いすみ市(千葉県いすみ市、市長 太田洋、以下「いすみ市」)が取り組む「強靱ないすみ市計画」を実現するため、東京電力パワーグリッド株式会社木更津支社(千葉県木更津市、支社長 四元善治、以下「東京電力 PG 木更津支社」)とともに、共同で推進してきたものです。

披露式には約 120 名の関係者が出席し、関電工 仲摩社長、東京電力パワーグリッド 四元木更津支社長の挨拶に続き、経済産業省 日野由香里新エネルギーシステム課長から祝辞が述べられました。

ブラックスタートの実演の後、東京大学生産技術研究所教授兼社会科学研究所 加藤孝明 特任教授の講演や、いすみ市 太田市長からの感謝状授与が行われました。

関電工は、太陽光発電、蓄電池および LP ガス発電機の 3 つの電源を設置し、それを統合制御する電源システム(EMS)を開発いたしました。これにより、災害等による大規模停電発生時において、安定した電力供給を可能とします。再生可能エネルギー等を有効利用し、自立して電力を供給できる地域マイクログリッドを形成することで、災害拠点や生活に欠かすことのできない電気をいち早く確保し地域社会に貢献いたします。

いすみ市は、再生可能エネルギー等の有効活用による温室効果ガスの削減により、環境にやさしい持続可能な地域づくりと、災害等による大規模停電発生時の電源確保の方策として地

域マイクログリッドを導入し、防災拠点等への長時間にわたる電力供給が可能なくみを構築することで、地域防災力向上及び災害に強いまちづくりの実現を目指します。

東京電力 PG 木更津支社は、一般送配電事業者として、いすみ市地域マイクログリッド構築事業の検討段階から参画し、安定供給や電力品質等の技術面、そしてマイクログリッド発動時の運用面について、関電工と様々な協議・調整を行ってまいりました。本事業に引き続き協力させていただき、地域の災害レジリエンスの強化に貢献します。

関電工、いすみ市、東京電力 PG 木更津支社の三者は協働し、再生可能エネルギー等の活用による災害に強いまちづくり及び新しい地方創生への取り組みに貢献してまいります。

<いすみ市地域マイクログリッドの概要>

1. 構築範囲

いすみ市地域マイクログリッド構築範囲は、防災拠点のいすみ市庁舎及び指定避難所の大原中学校を中心に東電 PG 木更津支社の系統を開閉器で区分した約 30 軒。

いすみ市地域マイクログリッドエリアを供給する電源設備として、いすみ市庁舎に太陽光発電設備を、大原中学校に太陽光発電設備、LP ガス発電機及び蓄電池を設置。

2. 地域マイクログリッド実規模試験

関電工は 2022 年 10 月に一般財団法人電力中央研究所赤城試験センター配電線を活用して、いすみ市に導入する実際の電源設備を導入し、地域マイクログリッドに関する実証試験をおこなった。この試験結果と東京電力 PG 木更津支社が従来から所有している系統運用技術との融合により、いすみ市地域マイクログリッド運用方法を決定した。

3. 地域マイクログリッド構築における設備所管

設備	設備所有者
送配電設備	東京電力パワーグリッド
発電設備	関電工
需給調整システム(EMS)	関電工

4. スケジュール

設備構築 2021 年 7 月～2023 年 1 月

設備運用 2023 年 2 月～2030 年 3 月



設備構築が完了し、関係者を集めて完成披露式が行われました



いすみ市地域マイクログリッド設備全景

【本件に関する問い合わせ先】

関電工 総務法務部 050-3186-2920

いすみ市 危機管理課 0470-62-2000

東京電力パワーグリッド 千葉総支社 043-225-1099